

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	里から始まる インターナショナル盆踊りフェスタ2016
事業主体 (連絡先)	NPO 法人 度十公園林の會 (小諸市大字山浦5179-1 電話0267-25-6393 代表 依田雄)
事業区分	(3) 教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	656,977 円 (うち支援金 473,000 円)

事業内容

8月13日(土)、当法人が事務局を置いている小諸市御牧ヶ原の茶房・ゲストハウス読書の森の管理する敷地内にて午前11時半より午後5時まで地元物産市、出店、パフォーマンスなども含めた広場を用意するとともに、午後6時から9時までオリジナル盆踊り曲を中心に、生演奏のもと、盆踊りを行った。午後の市には推定100人から150人程度の人出があり、盆踊りタイムには、200人程の人出となった。

途中には、国内地域間の文化交流の一環にしたいという思いから小室節披露の時間帯や、阿波踊りを、指導のもと参加者で踊るといった時間帯も設けた。

また地元におけるインターナショナル化の狙いもあるので、午後の物産市にアフリカのコンゴ出身の方による出店があったり、盆踊り中にはアメリカのミュージシャンによる、盆踊り曲の演奏が披露もされた。

盆踊りの後は花火タイムを設けて余韻を楽しんだ後、午後9時半頃には終了となった。



盆踊りの開始早々の場面



アメリカ人ミュージシャンも参加しての盆ダンス曲を地元TV局も取材

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①地元の歴史文化の復興の狙いというのは、中長期的な目標である。今回の開催は二度目であったが、広く認知されてきたという手応えは十分に感じられた。集客人数は前年比推定30%~60%増であったほか、物産あり、パフォーマンス等ありという自由で伸びやかな雰囲気のと組み合わせることもあり、こちらでの集客も100人ないし150人程あった。また、この市には地元はもとより県内外からのユニークな内容の出店もあり、情報交換の優れた場も提供できつつあるという実感も得られた。

しかし、一方いまだ地元との多面的な協働という体勢までには至らなかったという認識と課題意識もある。



物産展「イマ市」の一店舗

②外国籍の方たちのうち、参加された方たちの国別と、お手伝いして下さった方たちの人数、国別ともに昨年より増加した。しかし内々で目標にしていた参加者数の一割程度にまでは至らなかったのは、今後の課題である。

一方、外国籍の方たちに限らないが、全て参加された方たちが大いに満足されていたので、良き文化交流・親善の場になったと自負するものである。

③この点は昨年初めての国際的な盆踊りで知ったニーズであった。都市部で生まれ育ち、かつ生活している方たちは大変多いが、この方たちに対してある農村部の里が「新たな」「帰省先」と思ってもらえるほどの信頼と安心を与えられるのは、中長期的に見て、観光のみならず、人的文化的にも有意義な活動源となるであろう。今年もそのような邦人家族、東京在住の外国籍の方が何組もお越しくくださったことを付記しておきたい。

【目標・ねらい】

①地元で衰退しつつある盆踊りを、新たな魅力を付加させつつ復活させていく。これをば地元の歴史文化の復興の一環としていくよう、回を重ねていく。

②国際的な盆踊りを創設することにより、外国籍の方たちとの文化交流の場を提供するとともに、これを定着拡大させていくことにより、地域の観光に資するものとする。

③国内において「お盆の新たな帰省先」としてのニーズを開拓していく中で、都市部とこちら農村部との良き交流の場と時間を作り、長期的には地域の活性化と観光に資するものとする。

※自己評価【 B 】

【理由】

参加者数の増加では目標としていた数を達成できたが、上記の目標・狙いは中長期的な視点であるので、今年度の成果を持って十分な達成とは言えない。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

前年と今年2回開催した結果、基本的なノウハウのベースは得られたものと自負している。今後は、この「里から始まる」と「国際」「盆踊り」という三つのキーワードをより広く広報させていくため、自らのSNSの手段はもとより、地元マスコミさらに、全国規模での広報をより早い時点から展開させていく予定である。規模においては500人の集客数を数年内の目安としたい。

内容においては、「お盆」を最も中心的なキーワードとして、少しずつ国内外の優れた伝統芸能もライブの形で紹介する場として国際化を進めていきたい。